



富山市長 藤井裕久

No.28 地域や人を繋ぐ祭り

コロナの影響で中止されていたお祭りが、ようやく3～4年ぶりに開催されていることは大変喜ばしいことである。富山市には、その成り立ちや歴史こそ異なるが実に様々なお祭りがある。自分の町内では、村の鎮守の春祭りに青年会が五穀豊穡と家内安全を願って獅子舞を奉納する。その獅子が一日中町内を練り歩き、とりわけ新築や新婚のお宅などは、獅子舞を招いて家内安全や子孫繁栄を願うのである。子どもの頃は、幼馴染みと夜が更けるまで獅子の後を追いかけたものである。

ところで、祭りには、自分の年齢やその時の状況などにより実に様々な思い出があると思う。友人や家族との思い出、笛や太鼓の音色、街の賑わい、露天商、風の香り、温度や湿度のような空気感などである。歳を重ねるにつれて同じ祭りでも感じ方は違って来るが、どんな祭りにおいても子どもの頃の思い出は特別である。かつて父の実家が市街地にあったことから、子どもの頃は「山王まつり」が楽しみだった。露天商が立ち並び沢山の人が出で賑わう活気ある雰囲気にワクワクした。中学生の頃には自転車でおわら風の盆にも出かけたが、おわらの風情はそっちのけで友達と遊び惚けたものだ。高校生の時に初めて観た「岩瀬曳山車祭」の曳き合いは衝撃的で、山車同士がぶつかり合う鈍く

低い音、若者たちの意気込みと熱気に驚いたものである。今年初めて訪れたのが150年以上の歴史を持つ「水橋橋まつり」である。白岩川河口近辺の情緒に加え花火や演出まで、住民や商工会・地元企業が協力して祭りを盛り上げているところが実に素晴らしい。

さて、先日お隣の町内会の納涼祭が4年ぶりに開催された。山裾の集落では夜風に清涼感も感じられる。地元建設会社の所有するトラックの荷台がメインステージ、広場にござを敷いた会場は手作り感いっぱいである。ステージ上はのど自慢カラオケ大会や若者のバンド演奏で大いに盛り上がる。町内会役員や女性部・青年部による模擬店は、生ビールに焼き鳥・焼きそば・たこ焼き・富山の郷土料理「あんばやし」など、相当の気合の入れようである。お年寄りから子どもまで多くの住民が参加し、この納涼祭に合わせて帰省する地元出身者や学生さんもあり、近況報告や思い出話に花が咲きみんなの笑顔が溢れている。何とも温かい人と地域の繋がりが感じられる納涼祭である。

歴史や規模は色々だが、人々を繋ぎ地域に活気をもたらす「祭り」は、故郷への愛情を育む富山の宝である。富山の祭りが世代を超えて引き継がれ、未来へと続くことを切に願うものである。



祭りの思い出

今月の 広報クイズ

富山の魅力を写真で発見・発信するフォトフェスティバル「OoOoo」を開催します。

○に入る文字は？ 答「OoOoo」

富山市公式LINEかはがきで回答してください(1人1通)。
LINEの場合

市ホームページ(☎1013250)から友だち追加をして、メニューから回答。
はがきの場合

答と郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と「広報クイズ」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ。

締切日▶9月14日(必着) 賞品▶500円分の図書カード
当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます(抽選で5人)。

前月の答え ごみ

前月の応募総数 636件(正解数630件)



とやま情報局

今月の
放送日 9月24日(日)11:45～

放送局 KNB北日本放送(1ch)

テーマ

「アメイジングトヤマフォトプロジェクト」

本市出身の写真家・テラウチマサトさんをプロデューサーに、写真で本市の魅力を発見・発信する「アメイジングトヤマ フォトプロジェクト」。

市公式写真部の活動や、呉羽小学校で行われた授業などを紹介します。

☎市ホームページ(☎1002571)